



2023年1月13日

各 位

会 社 名 ア サ ヒ 衛 陶 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 星 野 和 也  
兼 社 長  
(コード 5341 東証スタンダード市場)  
問 合 せ 先 経 営 企 画 本 部 町 田 英 彦  
法 務 I R 部 長  
T E L (06)7777-2067

## 2022年11月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年1月19日に公表いたしました2022年11月期通期連結業績予想について下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2022年11月期通期連結業績予想の修正(2021年12月1日~2022年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,650	百万円 60	百万円 50	百万円 25	円 銭 7.65
今回発表実績 (B)	2,282	△188	△158	△163	△49.23
増減額 (B-A)	△368	△248	△208	△188	△56.88
増減率	△13%	—	—	—	—
(ご参考) 2021年11月期 実績	1,765	△5	6	△41	△13.54

#### 2. 通期連結業績予想修正の理由

売上高については、本日公表いたしました「2022年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正についてのお知らせに記載の通り、一部のプロジェクトにつきまして売上高及び売上原価の計上を総額表示から純額表示に切替えた事、及び、海外事業において、新型コロナウイルスの影響が長引いており、生産面で製作の人員確保が難しかった事による欠品が生じたための販売機会が失われた事及び生産コストが上昇した事が影響となっております。またミャンマーにおける政情をきっかけとしたベトナム政府の方針転換も事業活動に影響が出ていることから、粗利率が低下しており、収益の回復が遅れております。また、連結子会社において第4四半期に収益計上の予定であった投資事業の案件が流れてしまった事、円安による売上原価のコストが上がっていること、組織改編による人件費、報酬費などの販管費が増えたことから、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上することとなりました。

※上記の業績予想はつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。

予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上